

## 紅葉の清里で遊ぼう

10月26・27の2日間、恒例の清里ツアーが開催されました。台風19号の大雨のため、特急あづさが全面運休、小海線もおおはば間引き運転という交通事情の悪い中でしたが、2歳から◎◎才までの老若男女総勢15人（子ども5人+大人10人）がつどい、標1200mの澄んだおいしい空気を吸いながらみんなで清里の秋をおおいに楽しみました。

清泉寮自然学校に2時半に集合、参加者の紹介など開会式の後、さっそく紅葉の森散策へ。曇り空の中でしたが色とりどりの森の眺めがしっとりと美しく、「ああ清里に来た！」と実感。出発してすぐ、宿舎前のクローバーの草むらでの四葉さがしでは、私もみつけることができ、さいさきのよいこと。もうここから嬉しい気持ちでいっぱいになりました。

森の中は、よい香りがし、ふわふわの落ち葉の積もった土の上を歩く感触は格別です。それぞれに、赤や黄色の美しい葉っぱを拾いながら、森を抜けて小川を渡り、牧場までゆっくりのんびり歩きました。牧場のカフェでコーヒータイムをとり、非日常感を満喫。

宿舎にもどっての夕ご飯も、清里の野菜たっぷりでもとてもおいしく大満足。

ここから森の案内人小西貴士さんが合流して下さり、夜7時からのナイトツアーということでガイドしていただきました。真っ暗な中を歩くこの夜の散歩が素晴らしかったです。

まず、昼間のクローバーの草むらに行き、懐中電灯で照らしながらさわって昼とはちがう様子を確認。マメ科の植物が夜は葉を閉じるものがあることを教えていただきました。子どもたちやママから「クローバーさんいい子でねんねするんだね。」の言葉。

さらに暗闇を歩き、牧草地へ。ここでいきなり遠くへ懐中電灯を向けると、なんといくつかの白い光る点が！。ここで食事の鹿たちの目なのでした！。

そして小西さんがリュックの中から取り出したものは大きな本物の鹿の角。三叉四尖の鹿の角の特徴や、たった1年でこんなに大きく成長して生え変わることやシカの生態などのお話へへの連続。お話を聴いているうちに、雲が切れてきて、頭上にはたくさん星が！ベガやデネブもみえて、天の川も見ることができました！

その後宿舎近くに戻ってキャンプファイアー。島藤さんのリードで火の回りでみんなで歌ったりゲームをしたり…。私には何十年ぶりかのキャンプファイアーでしたが、闇の中で火を囲む独特の雰囲気、やっぱりいいなあと感動でした。

ここまで子どもたちはお休みなさいの就寝タイム。

でも、大人たちは、ここからがまたまたお楽しみの交流タイム。お酒やお菓子をいただきながら、たくさんたくさん話して、本当に楽しかったです。小西さんも参加して下さり、長野県山ノ内町のリンゴ農家の笹井さんと、クマやシカやサル、イノシシなど人の住む里にやってくる動物たちの話で盛り上がりました。日付が変わるころまでしゃ

べり続け、話は尽きませんでした、ひとまずお開きにして、解散。

何と豊かな楽しい1日だったことでしょう。参加してよかったと心から感謝感動しながら眠りにつきました。外は冷え込み、満天の星空。

二日目も、朝食前の1時間ほど散歩しました。朝の景色は昨日とはまたちがい、同じ木の色づきも一夜のうちに昨日よりちょっと濃くなっているような……。すがすがしいという言葉がぴったりの朝の森散歩のひと時でした。

朝食も、濃い牛乳がおいしくて、いかにも清里。とりわけ上等のハムがおいしくて、みんながお土産にこれを買って帰ろうと言いあうほどでした。

二日目の午前は自由行動ということで、いくつかのコースの提案をいただいてそれぞれに清里をたっぷり楽しみました。

私は、代表の小川さんと森を歩き、ハヶ岳センターで、子どもたちも楽しめるようにスタンプや折り紙など色々に工夫してある自然解説のあれこれにふれて感心しながら、勉強もでき、こちらも楽しく大満足でした。

お昼に宿舎に戻り、おいしいカレーの昼食後、振り返りの会をかねての解散式。

「楽しかったことや、残念だったことを書いてください」というアンケートに、「何もかも楽しくて、残念だったことってなんて何も無かったわねえ。」の声。

ただ、交通事情が悪くて、いつもなら東京から2時間半ほどでつくのに、延々と鈍行列車を使い継いでの参加はとても大変なことでした。なので、参加者はいつもの半分くらいだったそうです。毎回参加なさる上遠さんも、さすがに4回も乗り換えのあるこの旅程ではと、参加を見送られたとのこと、それが一番残念でしたが、事務局の皆様が、困難にもめげずしっかり準備してくださり、こんなにも楽しい会にしてくださったことに心から感謝したことでした。

最後に小川代表の息子さん小川コータさんが作詞作曲された、「また種」という、レーチェルカーソン協会にぴったりの素敵な歌をご自分で歌っていただいて、名残をおしみながらそれぞれ、帰途につきました。

山ノ内町の笹井リンゴ園の特別な早生ふじの大きなおいしいリンゴもたくさんお土産にいただいて、これもまた恐縮、大感謝。

この頃には、よく晴れて、ハヶ岳の八つの山頂がくっきりと全部見え、富士山もみえて、清里の紅葉の季節の眺めを堪能しながら帰りました。

私は初めての参加でしたが、本当に楽しい二日間を過ごさせていただきました。

アンケートの、「また参加したいと思う」のところに二重丸◎を付けました。ただただ、皆様ありがとうございました、の想いでいっぱいでした。

参加のお子さんたち（小川さんのお孫様たち）もとてもかわいくて、こんなふうに子どもたちと一緒にたっぷり自然の中で過ごせる会っていいなあ、素晴らしいなあ。と、命の洗濯ができたような気持ちの良さに満たされました。 篠田木末

